

## クロベンケイガニ

名前の由来は、体のゴツゴツした感じが「武蔵坊弁慶（むさしぼうべんけい）」に似ていることからつけられました。

甲羅（こうら）の幅は4 cm程度まで成長し、体は茶褐色で、甲羅の中央にへこみがあります。脚には硬くて長い毛があり、ハサミは紫色を帯びています。

主に河川の河口や下流域の川原や土手に生息しています。アカテガニが水辺から離れた場所まで進出するのに対して、本種は水辺から離れず、近づくと水中に逃げるが多いです。

昼間は穴の中で過ごし、夜によく活動します。雑食性で、植物、小動物、動物の死体などを食べます。

繁殖期の夏になると、交尾したメスが海岸に集まり、大潮の満潮時に卵を放ちます。孵化（ふか）した幼生は、1ヶ月程度海中で浮遊生活を送り、変態後に河川を遡上（そじょう）します。



### 富士市での現状

沼川の下流域で確認されました。

クロベンケイを確認したメッシュ

